

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171200019		
法人名	社会福祉法人 野菊の里		
事業所名	グループホーム のぎく		
所在地	佐賀県三養基郡上峰町大字前牟田1949番地		
自己評価作成日	平成21年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成21年12月1日	外部評価確定日	平成22年1月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>四季折々の行事をなるべく取り入れていき季節を感じていただけるようにしていただき、共同生活だからこそ楽しめることなどを理解していただき、また、一人一人の個性を考慮して、入居者が自分のペースで安心して、楽しく生活していただけるように工夫をしています。そして、地域の方と交流を持つために、年2回の「地域交流会」を開催しております。公共の施設や郵便局にポスターを貼らせていただいたり、運営推進会議のメンバーの方に近所の方、お知り合いの方等に地域交流会参加へのお声かけをしていただいご協力いただいで開催しております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、工場や民家が点在する農村地帯にあり、傍には、同一法人の特別養護老人ホームやデイサービスがあり、それぞれの機能を活かした連携が図られている。管理者を始め職員は、利用者の日々が安心して楽しい暮らしとなるように、それぞれの希望や意向を把握し支援にあたっている。心身の機能維持や楽しみ事として、大きな声を出しながらの朗読や歌、体操、生け花、絵手紙作成等に取り組んでおり、絵手紙は、遠くに住まれる家族との通信にも活かされている。近隣の事業所とは勉強会に参加し合ったり、利用者と共に相互訪問する等の交流を行い、サービスの質の向上に活かしている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえた理念をつくり実践とつなげている。	「福祉をととして地域社会に貢献する」を理念に掲げ、地域との関係づくりを目指している。管理者は職員の異動時には、新しい職員に対し理念について説明をしている。	個々の職員に対する理念の周知に加え、職員間で理念が共有され理念を具体化していく事を意識した取組みも期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	機会ある毎に地域の活動に参加し、またホームにて年2回の地域との交流会を開催し、地域の方々との交流を心がけている。	年に2回、地域の人達を招き、ぜんざい会や茶話会等を開き交流を図っている。	地域の行事や活動等の情報を収集し、地域の一員としての参加・交流など更なる取組みを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域との交流を通じて地域の人に向け活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者やサービスの実際、評価への取組み状況等の報告を行い意見をサービス向上に活かしている。	会議では事業所の行事や運営状況の報告、外部講師による出前講座等が行われている。外部評価の結果についても報告がなされている。	会議の開催数や内容等を再検討し、サービス向上のための一層充実した会議になることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日ごろから連絡を密に取り、相談・指導を受け常に協力関係を築いている。	町の担当者とは気軽に相談できる関係にあり、折に触れ、情報交換や課題解決のための相談をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員すべてが理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員は身体拘束の弊害を理解しており、安全に配慮しつつ自由な暮らしを支援している。昼間は玄関は施錠しておらず、自由に入出りができる。但し、玄関が居間や台所からは死角となるために、安全に備え音センサーが設置されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内、施設外の研修に参加し、学んだ事を活かし虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な方には、活用できるよう支援していく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書、パンフレットにそって説明を行っている。利用者や家族の不安や疑問点を尋ね不明な点は、いつでも尋ねていただけるようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	気軽に話して頂けるよう環境づくりに努めている。意見が出た時は、職員間で話し合いを行い改善に努め運営に反映させている。	面会時や家族会等の折に、気軽に声をかけ、何でも言ってもらえるような関係づくりに努めている。出された意見や要望等については、職員間で話し合い速やかに対処している。なお、重要事項説明書には、事業所以外の苦情申し立て窓口も明示し、説明している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	母体での毎週月曜日の職員会議、GHでの毎月のスタッフ会議で意見や提案を出してもらい運営や業務に反映させている。	管理者は、日常の業務の中や毎月の職員会議の折に、職員からの情報や意見を聞き、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個性性を尊重した業務分担により、各自が向上心を持って働ける環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修の参加が出来るように勤務調整し、参加できる機会の確保に努め、職員の育成を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホーム長との意見交換会に参加し、他のホームの見学を含めた勉強会に参加させていただいたり、近隣のグループホームの行事に参加させていただき、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っている事、不安な事、要望等には耳を傾け、本人の意向に沿うように努め、本人の安心を確保するための関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困っている事、不安な事、要望等には耳を傾け、家族との信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族とよく話しをして「その時」必要とされていることを見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の人格を尊重し、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には、理解を求め、一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会にきやすい環境であるように努めている。	利用者にとっての馴染みの人や場所等を把握し、家族の協力を得ながら、関係の継続支援に努めている。利用者が書かれた絵手紙を遠くの家族に送ったり、電話での連絡を取り持つ等、家族とのつながりも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の生活を把握し、孤立せず、利用者同士が関わりあえるよう支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて、相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めているが、困難な場合は、家族の意向を聞き検討するようにしている。	日常の関わりの中で個別に声をかけ、会話や表情等から希望や思いを把握するよう努めている。意向の把握が困難な場合には、家族から情報を得、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに反しない程度、話を聞き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に記載し、介護計画に反映し、個々の現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族等の意向を基に、職員間で話し合い介護計画を作成している。	本人や家族の希望や意向を確認すると共に、職員間で気付きや意見を出し合い、本人本位の介護計画を作成している。毎月月末には、計画に添った評価を行い、見直しに繋いでいる。利用者に変化が生じた時には、臨機応変に計画を見直している。なお、見直しの際にも、家族とも話し合っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアに実践・結果を個別記録に記入し、職員間で情報を共有し、1ヶ月毎の評価を行い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のその時々で、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭に参加してもらおう等参加する喜びを感じて楽しんでもらうように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個別にかかりつけ医師の診察をうけられて、適切な医療を受けられている。	利用者は以前からのかかりつけ医を受診されている。通院は基本的に家族の付き添いとしているが、状況によっては、職員が通院介助を行い、適切な診療が受けられるように支援している。それぞれの医療機関との情報交換も適切になされている。主治医の交代については本人や家族の希望でなされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	准看護師の資格を持った職員1名を配置し、情報、気づきを伝えて個々が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族と情報交換を行い相談している。必要時は主治医との面談を行い、入居者が安心して治療できるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時は、本人・家族や主治医等と相談して検討する。又、終末期のあり方については、契約時に、病院等に相談させていただくことを伝えている。	重度化や終末期の対応はしておらず、病院や同一法人の併設施設に依頼している。このことは、利用開始時に家族に説明をしている。なお、かかりつけ医とも方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の研修や急変時のマニュアルを作成している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中、夜間を想定した避難訓練を定期的実施している。	昼夜を想定した火災時の非難訓練等を毎年実施しているが、消防署や地域住民の参加・協力を得るまでには至っていない。	職員だけの誘導の限界を具体的に確認し、地元の消防団や住民の参加・協力も得られるような取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、言葉かけや対応を行っている。	言葉かけや対応には気を付けており、ゆっくりと話しかけたり、さり気なく手を差し伸べて支援している。利用者の個人情報については、守秘義務について理解し取り扱いに注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を表したりできるよう、声かけを行い自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大切に、なるべく希望にそって支援できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事等時には、服装を普段着とは変え参加することを感じていただき、女性の入居者の方には職員がお化粧品も支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の力量にあわせ準備等を手伝ってもらっている。スタッフも同じ食事をとり楽しく、食事ができるように努めている。	利用者の力量に応じて食材の下ごしらえや後片付け等を一緒に行っている。食事の時は、職員も同じテーブルで同じ食事を食べながらさり気なく見守り、楽しい雰囲気作りに努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態を把握し、食べる量やバランス等を考え支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後には、歯磨きうがいをし、入れ歯の方は、一週間に1度は、ポリドント洗浄等を行い口腔ケアに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を行い、排泄のパターンを把握しトイレ誘導等を行っている。	利用者それぞれの排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バナナ等の繊維質のある食材を食事に提供したり、レクリエーション等で軽く運動したりして予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	保清が保たれるよう、2日に1度入浴支援を行っている。入浴時はゆっくり入浴できるように1対1で対応し支援している。	基本的には2日に1回の入浴であるが、希望があれば毎日の入浴も可能であり、楽しみとなるように支援している。入浴を拒否される時には、無理強いをせず日にちを変えたり職員が代わる等して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングにソファや折りたたみベッドを設置しているので状況に応じて休息を取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋にて確認している。服薬チェック表で飲み忘れがないよう確認している。病状変化時には、准看護師の資格を持った職員の支持にて対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力量にて、テーブル拭き、洗濯物たたみ等を手伝ってもらっている。外出の機会をなるべく多く持ち、たのしみ事、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	適宜ドライブを計画したり、週1回の併設施設でのデイサービス参加、施設行事の参加を行い外出の機会を多く持つようにしている。	日常的に近隣の散歩をしたり、時にはドライブもしている。また、週に1度は傍にある併設施設のデイサービスに出かけている。利用者個々の外出希望時には、家族の協力を得ながら外出できるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金所持を希望される方は、家族の理解のもとに所持されている。ショッピング時には自分で支払われることもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時は電話、手紙の支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、季節の花や観葉植物を飾っており、リビングにはブラインドを設置し、その都度光の調整ができるように工夫している。	日当たりの良い居間のガラス窓にはブラインドを設置したり、廊下の天窓にはタペストリー様の日除けを設置する等、光の調節に配慮している。また、玄関には色とりどりの季節の花を飾ったり、食事の時のお盆やテーブルにも紅葉した木の葉を飾る等、季節感を採り入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、ソファーと折りたたみベッドを置き、また廊下にはソファーを置き、その時々で好きな場所でくつろげるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、本人・家族と相談し、昔から使いたれた好みの物を自由に持ちこんでもらい、自由に部屋の飾り等をしてもらっている。	入居時には利用者が使い慣れた馴染みの物の持込を勧めている。また、配置についても本人が使い勝手がいい様に置き、安心できる居室作りを支援している。家族や本人の写真、壁飾り、仏壇、整理筆筒、時計、カレンダー、置物等が見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には、手すりを設置し、段差のないバリアフリーにしている。安全な生活が送れるように支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)		1. 毎日ある
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない